

2月22日猫の日!



多頭飼育問題を 考える研究研修会

～多頭飼育ケースのチーム連携事例からの支援・連携の在り方を考える～



開催日時：令和5年2月22日（水）9:50～16:15

開催場所：動物愛護センター レクチャールーム
（小諸市大字菱平字前新田2725）

主催：長野県社会福祉協議会 **共催**：長野県

グループワークの進め方（留意事項）

参加者のみなさんは、下記の留意事項をよく読んでグループワークに取り組んでください。グループワークでは、一人ひとりがグループメンバーの一員として積極的に参加し、メンバーと協力し合ってください。各自の専門分野、経験と知識、価値観を尊重し、話しやすい雰囲気を作り、お互いの言葉に耳を傾けましょう。

●グループメンバーに守っていただきたいこと

- ① 他の方の発言に敬意をはらい、意見が違ったとしても相手の良いところに注目しましょう。
- ② 一人の人が話し続けることの無いようにしましょう。（1回の発言は1分以内が適当です。）
- ③ 他の方に自分の意見を押し付けないようにしましょう。
- ④ 発言の意味が分からないときは、そのままにせず、わかりやすく説明してもらいましょう。
- ⑤ 周りの人に関心を持って、積極的に参加しましょう。
- ⑥ 専門用語など、業種が違う分野では、相手に伝わりづらいことに配慮して話しましょう。
- ⑦ ケース等の個人情報などは研修会場以外では話さないなど、取り扱いには注意してください。
- ⑧ 途中で抜けたりできません。最後まで楽しんでください。
- ⑨ ユーモアを忘れずに。

日 程 表

時 間	内 容
09:50	開会・あいさつ
10:00	◆【多頭飼育問題の現状を知り、飼い主の背景について考える】 『チーム TAG 活動メンバーのリレートーク』 長野県上田保健所 石黒 奈央 氏 一匹でも犬・ねこを救う会 松井 ルミ 氏 しんけん動物病院 松木 信賢 氏 東御市社会福祉協議会まいさぽ東御 佐藤 もも子 氏 休 憩(10分)
11:10	『グループワーク1 それぞれの現状を共有してみよう!』
12:00	お昼 休憩(60分)
13:00	◆【連携と役割分担について必要なものとは】 『パネルディスカッション・掘り下げて想像するビフォーアフター』 <登壇者> 長野県佐久保健所 藤井 美和 氏 長野県動物愛護センター 小平 満 氏 東御市役所 笠井 昌鷹 氏 ○二人の飼い主インタビュー～飼い主は何を感じたか～ <コーディネーター> 松木 信賢 氏(再掲) 休 憩(5分)
13:45	『グループワーク2 支援事例を検討してみよう!』 <出題者> 坂城町社会福祉協議会 山田 篤紀 氏 休 憩(10分)
15:00	『少人数で自由に対話しよう(ワールドカフェ方式)』 ※興味のあるテーマのテーブルに入り意見交換をします。
16:00	◆【ふりかえりタイム】
16:15	終 了

会場参加者 ※◎は世話人					
	グループ	氏名	所属	役職等	備考
1	1	丸山英基	生坂村社会福祉協議会	地域福祉コーディネーター	
2	1	藤井 美和	長野県佐久保健福祉事務所	乳肉・動物衛生係長	登壇者/TAG
3	1	小沼舞子	動物愛護ボランティア		
4	1◎	須田正典	長野県健康福祉部食品・生活衛生課	獣医師	
5	1	松井ルミ	一匹でも犬ねこをを救う会	副代表	登壇者/TAG
6	1	小平満	長野県動物愛護センター	そうだん課長	登壇者/TAG
7	2	佐々木駿	あさま動物病院	トリマー	
8	2	石井憲幸	民生委員	半過自治会 民生児童委員	
9	2	佐藤公治	厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室	就労支援専門官	
10	2◎	桑名 美由紀	北信保健所	獣医師	TAG
11	2	石黒奈央	上田保健所	主任獣医師	登壇者/TAG
12	2	笠井 昌鷹	東御市 生活環境課	生活安全係主査	登壇者/TAG
13	3	岡野美鈴	長野県動物愛護センター	主査獣医師	
14	3	辻本 涼	立科町役場	主査	
15	3	矢島拓弥	安曇野市環境課	主事	
16	3◎	松橋正英	まいさぼ信州長野	相談就労支援員	TAG
17	3	佐藤もも子	東御市社会福祉協議会	まいさぼ東御主任相談支援員	運営/登壇者/TAG
18	4	中山敦人	御代田町	環境衛生係長	
19	4	オチョア小林愛菜	動物愛護ボランティア		
20	4	浦野絵梨	長野県動物愛護センター	主任獣医師	
21	4◎	市原綾子	まいさぼ信州長野	主任相談支援員	TAG
22	4	松木信賢	しんけん動物病院	獣医師	登壇者/TAG
23	5	松澤淑美	長野県動物愛護センター	所長	
24	5	井出たえ	地域包括支援センター	保健師	
25	5	榎本真弓	立科町議会議員		
26	5	小平朋江	安曇野市環境課	副主幹	
27	5◎	篠井太郎	上田市		TAG
28	5	山田篤紀	坂城町社会福祉協議会	相談支援係長	登壇者/TAG
29	6	小田美歩	塩尻市生活環境課	主事	
30	6	吉崎葵	根羽村社会福祉協議会	事務局職員	
31	6	藤森令司	長野県動物愛護センター	主任	
32	6◎	青木理恵	一匹でも犬ねこをを救う会		TAG
33	6	佐藤尚治	長野県社会福祉協議会	企画グループ主任	運営/TAG
34	事務局	高橋つぐみ	長野県社会福祉協議会	企画グループ主事	運営/TAG

オンライン参加者 ※◎は世話人					
No.	グループ	氏名	所属	役職等	備考
1	1	安藤昌美	松本保健所	主査獣医師	
2	1	関一美	北信保健福祉事務所	動物愛護管理業務員	
3	1	安達徹	森町社会福祉協議会	事務職員	
4	1	大橋ひとみ	木曽ネコ会		
5	1	安井 忍	東京都社会福祉協議会東京ボランティア・市民活動センター	相談担当専門員	
6	1	山本世里花	マーマレードキャット	広報	
7	1	須田優子	佐久地区TNRお手伝い		AMのみ
8	1◎	塩入さな江	上田市社会福祉協議会 真田地域包括支援センター	生活支援コーディネーター	PMは視聴のみ TAG
9	1◎	笠原邦正	上田市社会福祉協議会	総務課長・コミュニティソーシャルワーカー	PMのみ TAG
10	2	コバヤシユキコ	ペット災害危機管理士/動物愛護ボランティア	動物愛護推進員	PMのみ
11	2	廣岡慶	森町社会福祉協議会	専任職員	
12	2	原寿美恵	豊丘村社会福祉協議会	地域福祉課 福祉活動専門員	
13	2	マツバヤシクミコ	小笠原村社会福祉協議会	主査	AMのみ
14	2	奥野稚菫	動物愛護ボランティア		
15	2	ナストモタカ	苫小牧市社会福祉協議会	主事(生活支援コーディネーター)	
16	2	福元麻子	ハッピーテール	動物愛護推進員	
17	2◎	青山篤哉	木曽保健所	主任獣医師	
18	3	横山とも子	しっぽのなかま上越	共同代表	
19	3	伊藤克宏	駒ヶ根市役所	生活環境課 環境衛生係	PMのみ
20	3	矢沢亜弓	松川町	係長	AMのみ
21	3	野口晃一	飯山市役所 市民環境課	会計年度任用職員	
22	3	木下満夏	下條村役場	主任主事	
23	3	亀山雅子	倉敷地域ねご活動をすすめる会(くらねこ)	ボランティア	
24	3	千寺丸洋	苫小牧市社会福祉協議会	課長(生活支援コーディネーター)	AMのみ
25	3	内藤明香	立科町社会福祉協議会	地域福祉コーディネーター	
26	3◎	倉根真	佐久市社会福祉協議会	地域福祉係	
27	4	齋田喜久子	原村民生児童委員		AMのみ
28	4	沼賀英理子	ファイライン行政書士事務所、群馬わんにゃんネットワーク	代表、ボランティア会員	
29	4	山本喜科	諏訪保健所 食品・生活衛生課	獣医師	
30	4	北山恵子	長野県動物愛護会長野市支部	愛護会会員	
31	4	笠原美絵	長野市保健所食品生活衛生課	係長	
32	4	伊澤幸光	獣医師会	獣医師	PMのみ
33	4	鴫田直子	おくはら動物病院		
34	4	蒲沼早百合	木曽町社会福祉協議会	地域福祉係	AMのみ
35	4◎	及川悦子	松本市保健所	係長	
36	5	杉山 聡	大町保健福祉事務所 福祉課	福祉係長	AMのみ(視聴のみ)
37	5	片桐大寿	豊丘村健康福祉課	社会福祉士	
38	5	寧波美和	全世界の犬猫の殺処分を廃止にする会	メンバー	
39	5	酒井淳一	伊那保健所	主査獣医師	
40	5	常田理子	あり動物病院	院長	
41	5	原絵美	古賀市社会福祉協議会	地域福祉係	
42	5	原山剛	まいさば茅野市	相談支援員	
43	5◎	坂木攝	飯綱町役場保険福祉課	相談支援包括化推進員	
44	6	イイダユミ	動物愛護ボランティア		AMのみ
45	6	中島銀太	木祖村	主事	
46	6	伊藤拓	佐久穂町社会福祉協議会	地域福祉係	
47	6	半田朝子	東伊豆町社会福祉協議会	生活困窮者自立支援相談員	
48	6	小野 佐智子	もふもふ堂 木曽ネコ会ボランティア活動		
49	6	新田朋章	苫小牧市社会福祉協議会	主任主事(生活支援コーディネーター)	
50	6	井ノ上さとみ	飯田保健所	動物愛護管理業務員	午後14~15時の間離席

◆【多頭飼育問題の現状を知り、飼い主の背景について考える】

『チーム TAG 活動メンバーのリレートーク』

<登壇者>

長野県上田保健所	石黒 奈央 氏
一匹でも犬・ねこを救う会	松井 ルミ 氏
しんけん動物病院	松木 信賢 氏
東御市社会福祉協議会 まいさぼ東御	佐藤 もも子 氏

犬多頭飼育事例への対応について

長野県上田保健福祉事務所

石黒 奈央

飼育者の情報

1 飼育者

80代の夫、60代後半の内縁の妻の2人暮らし 生活保護受給

2 過去の経過

他保健所管内在住時に36頭の柴犬を飼育、管轄保健所の協力により30頭を譲渡(アニマルホーダー?)

平成24年に当所管内A市へ転居

経過①

令和3年2月

- ・飼育者宅の大家よりA市生活環境課(以下生環課)に犬の鳴き声・ゴミ処理について近隣から苦情があったとの相談あり
 - ・生環課・動物愛護ボランティア(以下ボランティア)・上田保健所(以下保健所)で訪問するも立入拒否
- 飼育者からの聞き取りによると柴犬20頭を飼育しており犬を手放したいとのこと

経過②

令和3年8月

- ・ボランティアが飼育者から数頭ずつ合計10頭犬を引き出していたが、奇形の子犬もいた→不適切な繁殖の疑い
 - ・生環課・保健所で訪問するも立入拒否
- 飼育者からの聞き取りによると犬は残り10頭ほど、子犬もいるがすべて譲渡する予定
- 夫が病気で入院しており介護が必要なためできるだけ犬をボランティアに引き取ってもらう予定
- 不妊手術をすること、オス・メスを分けて飼育するよう指導

50頭を超える多頭飼育の発覚

令和3年11月

- ・飼育者の夫が退院し、自宅での介護となるためA市福祉課(以下福祉課)が介護用ベッドを搬入するため室内に立ち入ったところ柴犬が多数おり、飼育者が犬を手放したがっているとして生環課に相談あり
- ・11月26日福祉課・生環課・ボランティア・保健所で訪問、残りの犬の頭数確認のため室内に立ち入ったところ約50頭の成犬、約15頭の子犬を確認
飼育者の了承を得てボランティアが当日子犬10頭を引き出し
残りの犬は後日一斉に引き出し
12歳の雌犬2頭のみ飼育者のもとに残す

11月26日



犬の引き出し計画

当初の予定を大幅に上回る頭数・・・ボランティアのみでは対応困難

- ・約25頭ずつ2回に分けて犬を引き出す
- ・犬引き出し後数日以内に他のボランティアに犬の譲渡を委託
- ・犬引き出し後他のボランティアへ委託する間の数日間、長野県動物愛護センター(以下センター)で犬の保管・飼養管理を行う
- ・ボランティアが飼育者より犬の所有権をボランティアへ移行する念書受け取り
- ・保健所が飼育者より今後多頭飼育を行わないとする念書徴取

役割分担

飼育者宅	犬の捕獲	ボランティア 保健所
	犬の運搬	ボランティア 福祉課・生環課 保健所
センター	犬の受け入れ	ボランティア センター 保健所
	犬の飼養管理	センター 保健所
	他のボランティアへの犬の委託	ボランティア

犬の引き出し

月日	引出し頭数	センター収容頭数	委託頭数	委託先ボランティア	区分
12月16日(木)以前	20		15	A	県内
12月17日(金)	38	38			
12月18日(土)			2	B	県内
			6	C	県内
			2	D	県外
			10	E	県外
			6	F	県外
12月19日(日)			4	G	県外
			4	H	県外
			9	A	県内
12月21日(火)	22		22	I	県外
12月24日(金)	29	29			
12月25日(土)	12	12	2	J	県内
			1	K	県内
12月26日(日)					
12月27日(月)			38	L	県外
1月12日(水)	1		1	A	県内
合計頭数	122	79	122		

◀ 残り約60頭と判明！

◀ 1頭残っていることが判明

飼育者宅①



飼育者宅②



飼育者宅③



動物愛護センター



その後の対応

令和4年2月9日

福祉課・生環課・保健所で飼育者宅を訪問
介護ベッドがある部屋で飼育者夫婦・犬2頭で生活
犬は2頭のみ、エサ・水の器あり、糞尿はなし →飼育管理改善

令和4年7月25日

福祉課・生環課・保健所で飼育者宅を訪問
生活の様子は変化なし、犬は2頭のみ
生活保護などの対応で福祉課が今後定期的に訪問

考察①

発覚の遅れ

立ち入りを拒まれたため実際に頭数を確認できなかった
庭が植木・車・木箱などで目隠しされ中の様子が見えず、玄関もどこにあるかわからず

飼育者の背景からどう説得するか？

多数の犬の保管場所

予想を大きく超える頭数

犬の一時保管場所の確保に苦慮

事前に保管場所を決めておく必要がある

考察②

室内の犬の糞・ごみの処分

・介護ベッドのある部屋の床に敷いたブルーシートの下、他の部屋、庭に堆積した犬の糞・ごみの処理ができていない

多機関連携

- ・多機関で連携することで対応できた・・・一機関のみでの対応は不可能
- ・福祉課との連携により動物愛護の観点だけではなく人の福祉の観点からも飼育者を説得でき、スムーズな犬の所有権放棄につながった
- ・飼育者が所有権放棄を拒否する場合には警察と連携し対応する必要がある

まとめ

- ・多頭飼育に対する対応は多機関で連携しなければ解決しない
- ・再発防止のため関係機関が連携し飼育者のアフターフォローを行う
- ・事前に対応マニュアルを作成し備える
- ・社会福祉部局と動物愛護管理部局で情報共有し、早期に対応する

ご意見をよろしくお願いたします！

人にも犬にも猫にも
優しい街を目指して

多頭飼育問題を考える 研究研修会 これまでの対応事例



NPO法人

一匹でも犬・ねこを救う会

信州上田

当会の理念

メンバー 20名

『悲しむ命ゼロ』におけ
人・犬・猫に優しいまちづくり

2017年度より上田保健所での犬・猫の殺処分はゼロを継続中



何をしている団体？

主な活動内容

地域の飼い主のいない
犬・猫の譲渡

動物の保護・シェルター
運営事業

行政と連携し
地域猫活動
TNR活動事業
多頭飼育案件等の対応

啓発・イベント
事業

相談窓口事業

地域の子供たちへの命の
授業

福祉・行政関係からよくある相談



飼い主の様々な事情から犬猫の引取の相談

餌やりをしている飼い主のいない猫の相談

福祉・行政関係者

仕事として有給で働く
定められた業務
仕事は激務

依頼

犬猫のボランティア

素人の一般市民。報酬はゼロ
不幸な犬猫を見過ごせず
労力・時間・身銭を切って
活動している

圧倒的な人数・予算の差

ボランティアは多くの要求に応える力はない



立科町

84歳女性独居（親族なし）
持ち家戸建て

2019年3月

相談者（情報入手先）立科町社協担当者

相談内容

高齢により身体・認知機能の低下により飼育継続が厳しい。施設入所予定。

状況

未手術の飼い猫20匹（子猫9匹含む）中外飼い。宅内は生活ゴミが散乱。緊急医療の必要のある猫も。飼い主はとても猫を可愛がっており人懐こい。飼い主の自立生活はかなり不安。近親交配により、先天的な内臓疾患の猫が多い。

対応

全頭不妊化し、一旦戻す。（シェルターに空きがなかった）状態の悪い猫2匹は入院。その後、飼い主は施設入所。社協担当者がボランティアで毎日給餌に通って下さった。その後全頭シェルターへ。

保護した子猫達が、パルボ発症し2匹が亡くなる。その後はウイルスの封じ込めができ、他の猫たちへの感染はなかった。

その後

死亡5匹 譲渡12匹 残3匹（高齢猫）

社協担当者がボランティアとして、シェルターのお世話に来て下さっている。

費用全額会負担

2019年7月

相談者（情報入手先）

SNSを通じて本人より
30代夫婦 3歳、0歳
夫婦は休職中

相談内容

飼い猫が増えてしまい困っている。助けて欲しい。

状況 完全宅内飼育

50匹くらいでは？の飼い主の予想を上回る80匹。全頭未手術。

飼い主家族のみ別アパートにて生活。猫がいる借家は家賃滞納50万。退去命令。

近隣からの悪臭相談もあり、管理会社が訪問し多頭飼育が発覚。

対応

伊那のボランティアの交渉で、退去日の延長（2週間）伊那保健所も同行し現場立ち合い。猫たちを捕獲し松本のボランティアの協力も得て、4日間で松本で全頭不妊化。手術済の猫達から、上田市の一時預かり場所へ移動。

（お世話になっている動物病院が受け入れ）会のシェルター倉庫を緊急でリフォーム。ワクチンが定着し、体調が落ち着いてからシェルターへ移動。

殆どの子が、脱毛し痩せていた。緊急入院した猫も。近親交配なので、

体質にも不安があった。資金不足のため、メディアやブログを通じ支援の呼びかけをした。3割の猫は、人馴れしていなかった。

一般の方の預りボランティアも募った。他ボランティア・獣医師の協力なくしては期日までになしとげられなかった案件。

その後

伊那保健所 1匹 他ボランティアへ10匹（全頭譲渡済）

死亡10匹 譲渡43匹 残16匹

費用全額会負担



2021年3月

相談者（情報入手先）佐久保健所・小海町

（近隣住民からの通報）

相談内容

飼い主敷地内小屋にて多頭の飼い猫の飼育。悪臭等の苦情。

野良猫への餌やりも。

状況

小屋の中に未手術、9匹の猫。悪臭・劣悪な環境で

状態の悪い猫も。野良猫は1匹が出産し、倉庫内で育児中。

対応

小海町の『住居支援・包括的重層支援サービス』に基づき対応（資料①）

生活環境課・福祉課・高齢者福祉課・社協・佐久保健所・しんけん動物病院と連携。小屋の清掃と敷地内のゴミの廃棄（小海町）

飼い猫、野良猫の不妊化手術。（飼い猫の費用は飼い主負担・野良猫の費用は小海町の助成金を使用）母屋一室を猫達の居場所として準備。

飼い猫の手術費用も、しんけん動物病院にて安価で対応。

飼い猫8匹 野良猫5匹の手術完了。（飼い猫1匹は高齢で状態が悪いため先生の判断のもと、不妊化せず）

私たちボランティアにも、3日間2名分36,000円が支給された。

その後

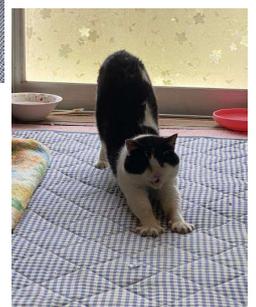
引取りした乳飲み子3匹は無事に育ち、譲渡済

小海町の方で、その後も見守り中。

会の費用負担ゼロ

小海町

高齢の両親
50代娘（娘有職）



連携がなく困ったこと

- ◆ 当事者が受けられそうな支援サーがわからない
- ◆ 猫（犬）の対応は何とか可能でも、その後の見守りが不安
- ◆ 全ての費用が会負担

愛護精神が高い
ボランティアと
猫が好きな当事者
共通する想いから
関係構築は難しくない

連携して良かったこと

- ◆ 地域で起きていることの認識が持て、情報共有がスムーズ
- ◆ 福祉の専門家によるアドバイス、可能な支援内容がわかる
- ◆ 多方面からアプローチができ、対応内容が充実
- ◆ 当事者に寄り添っての対応
- ◆ 関わる市長村によっては、助成金などの制度が使用可能
- ◆ ボランティアの費用負担の軽減

当事者が行政・福祉
専門職の方の受け入れを
拒む場合がある

環境省 多頭飼育対策ガイドライン

① 予防

現在は起きている案件の対応に追われているが、飼育継続困難にならないよう、崩壊させない為にどのように予防をするのか？も急務。

② 発見

福祉事業者や行政の福祉担当部署において、ペットに関する問題が見逃されれば、問題が深刻化し、行政の動物担当部署や住宅担当部署における対応が難しくなる。

③ 発見後対応

社会的な支援が必要な人の飼育するペットに関するトラブルの内容や対応方法、問題解決に向けて連携できる協力先、周知、方法、連携の仕組みづくり

④ 再発防止

対応後、リバウンドさせないよう定期的な見守りも必要

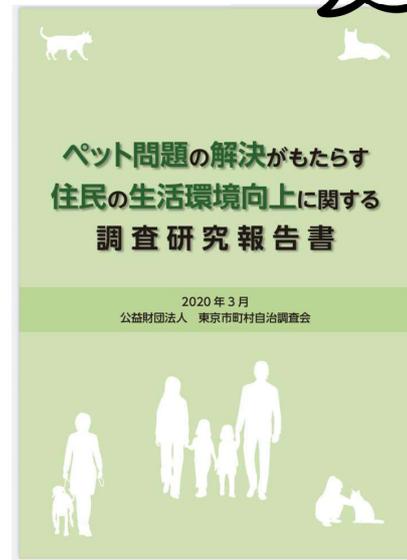
最後に・・・

現在の日本は、しょうしか超高齢化社会に向かっています。
生きづらい社会とも言われています。
この先案件数は増加することが予想されます。

目指すは
『共生できる社会』
地域・人・飼育動物全てが
ハッピーな毎日を
送れることにゃ！



全国の先進事例が掲載
参考に！



ご清聴ありがとうございました。

町長	副町長	総務課長	課長	係長	係	社協局長	係長	地域福祉係

資料①

小海町居住支援・包括的重層支援サービス利用申請書

居住支援 包括的重層支援

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 低額所得者
<input type="checkbox"/> 被災者（発災後3年以内）
<input type="checkbox"/> 高齢者
<input type="checkbox"/> 障がい者
<input type="checkbox"/> 子供を養育している者
<input type="checkbox"/> 外国人
<input type="checkbox"/> 中国残留邦人
<input type="checkbox"/> 児童虐待を受けた者
<input type="checkbox"/> ハンセン病療養所入所患者
<input type="checkbox"/> DV（ドメスティックバイオレンス）被害者 | <input type="checkbox"/> 拉致被害者
<input type="checkbox"/> 犯罪被害者
<input type="checkbox"/> 生活困窮者
<input type="checkbox"/> 更生緊急保護対象者
<input type="checkbox"/> 大規模災害の被災者
<input type="checkbox"/> その他（
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 引きこもり等の要日中活動支援対象者
 <input type="checkbox"/> 住環境劣悪対象者
 <input type="checkbox"/> 動物等多頭飼対象者
 <input type="checkbox"/> 就労支援対象者 </div> |
|--|---|

支援開始日 令和 年 月 日

小海町長 黒澤 弘 殿

令和 年 月 日

小海町社会福祉協議会 会長 嶋田 一正 殿

申請者（通報者）

住所 番地

氏名

利用者	氏名				性別	男・女	電話			
	生年月日	明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日					(歳)			
	住所	小海町大字			番地	地区名				
世帯の状況	氏名		年齢	続柄	職業		備考			
				世帯主						
★	緊急連絡先		氏名		電話					
	相談内容					事案発生年月日				
						年 月 日				
	現在の状態・病状/治療中の病名									
	治療を受けている医療機関 主治医 科 先生									
	要配慮者		自立・未申請	就労希望		支援住宅の要望				
	介護度		自立・未申請	要支援 1・2		要介護 1・2・3・4・5				
	障がい区分		自立・未申請	障がい種別		区分 1・2・3・4・6 A1・A2・B1・B2()				
	食事制限		無・有()		アレルギー無・有()		形態()			
	歩行		独歩	つたい歩き	杖歩行	歩行不可				
	食事		自立	見守りが必要		部分介助	全介助			
	排泄		自立	見守りが必要		部分介助	全介助			
入浴		自立	見守りが必要		部分介助	全介助				
上記事業に希望する事										
年金等収入		課税状況		課税	非課税	対応者確認				

相談・支援・見守経過の記録		要支援者:氏名	
		専任者:氏名	

開業獣医師が多頭飼育問題に関わる意味

しんけん動物病院（動物移動手術車）

獣医師 松本信賢

地域猫活動アドバイザー兼臨床公衆衛生獣医師

しんけん動物病院
動物移動手術車



獣医師として最も重要なこと

- ①不妊、去勢手術を実施し繁殖の連鎖を断ち切ること
- ②動物たちの健康状態を把握し適切な飼育状況に導くこと

結果的に飼い主宅周辺への影響を小さくすることに寄与し、
飼い主自身の生活を安定化させることに貢献できる



課題

- 飼い主が手術費用を捻出できるか（不妊化手術以外の最低限必要な治療費は？）
- 多頭飼育状態のまま飼育継続する場合、飼い主がその後の動物のケアをできるかどうか
- 動物達の飼育環境が手術後、一定程度保たれているか（適切な給餌、排せつ物の処理など行えるか）

金銭的な問題に直結する



現時点での対応

- 多頭飼育案件の不妊化手術では、ほとんどが民間助成金（公財どうぶつ基金）の行政申請枠で対応している。手術、ワクチン、ノミダニ駆虫薬が**飼い主負担無し**で受けられる。

手術後、基金より協力病院へ♂3000円、♀5000円、ワクチン1000円、駆虫薬1000円が支払われる。

利他を求めない活動となっている



※一般的な手術料金（**麻酔料除く**）はオス猫**15000円**程度、メス猫**22000円**程度
（出典：日本獣医師会令和3年11月診療料金実態調査より）

連携を通じて良かったこと

福祉面

- 飼い主さんの生活背景を知ることができた
- 関わっている福祉関係者から手術後の動物の様子を教えてもらえる
- 手術を通じて福祉関係者の理解につながった（要支援者に継続的に関わっていくこと）

獣医療面

- 困難を抱える方の動物達を支援することで人の福祉にも貢献できた
- 行政、ボランティアさんの日ごろの活動の理解につながった



まとめ

- 獣医師が多頭飼育問題に関わることは飼い主のみならず、動物愛護ボランティア、行政、福祉、地域を支えることにつながる。（社会的貢献度が高い）
- 日ごろの飼育指導、不妊化手術啓発が特に必要
- 要支援者に継続的に関わる福祉の方々、行政、福祉と情報共有し現場で活動するボランティアさんの日々の苦勞を多くの方に知ってもらいたい



【多頭飼育問題の現状を知り、飼い主の背景について考える】

～多頭飼育とソーシャルワーカー～

2023年2月22日 『多頭飼育問題を考える研究研修会』資料



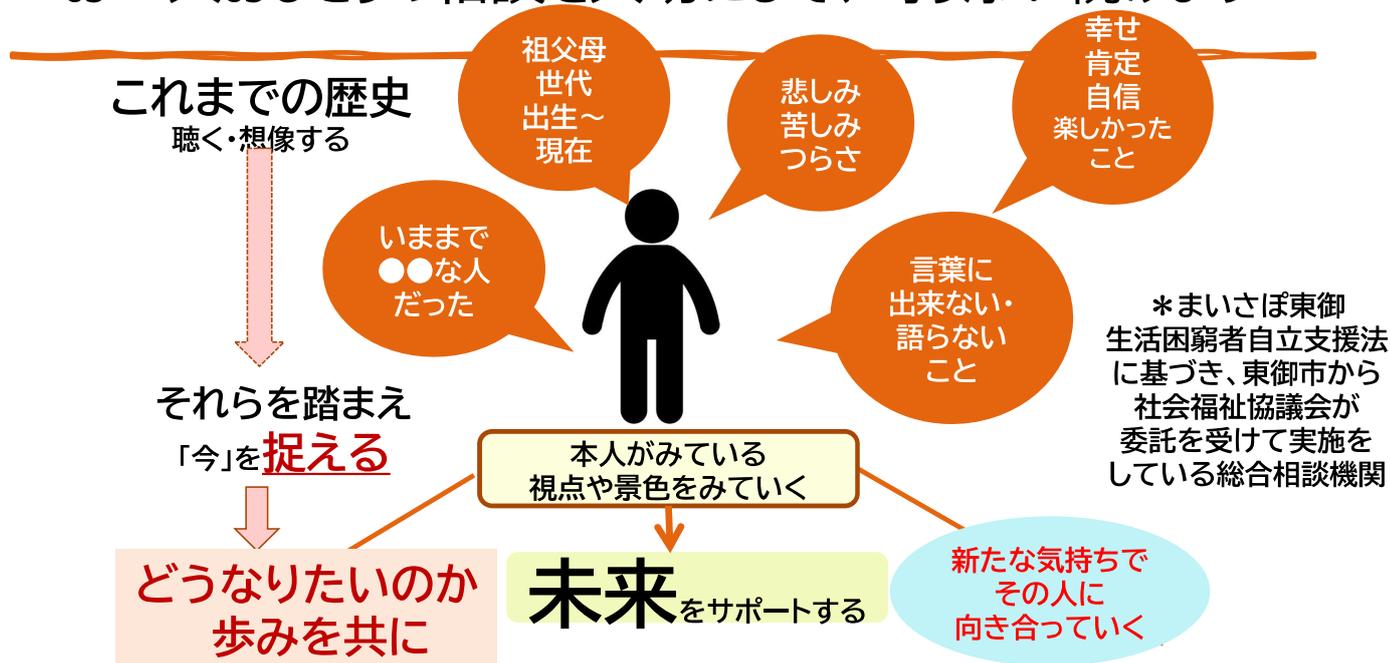
社会福祉法人 東御市社会福祉協議会

相談支援係長 ・ まいさぼ東御 主任相談支援員

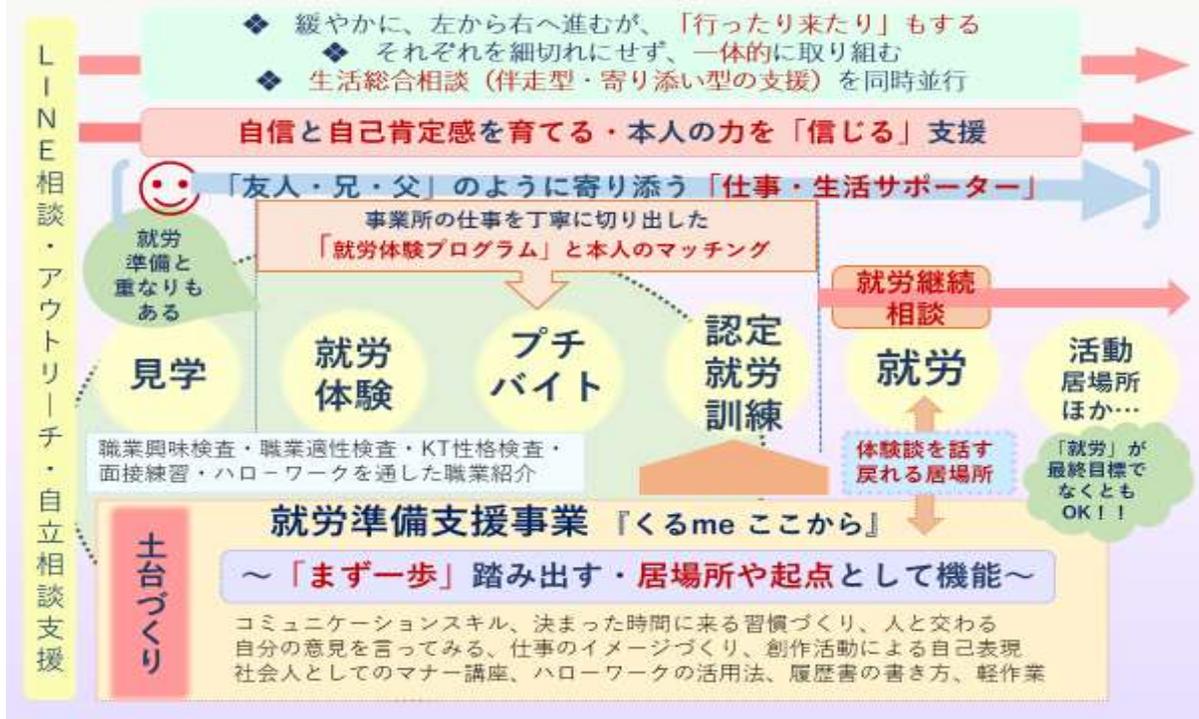
佐藤もも子（社会福祉士）

1

東御市社協（まいさぼ東御*）はソーシャルワーカー（相談員）がお一人おひとりの相談を大切にして、寄り添い続けます



まいさぼ東御の生活相談・就労支援のしくみ



3

社会福祉協議会（まいさぼ東御）に来る相談

ご家族の事情で
ヤングケアラーになっている
子どもがいる

働きたいけれど、
障がいや病気があって
働く先が見つからない

調子が悪くなり
家の片付けや整理が
できなくなってしまった

人と会ったり、話したり、
外に出て活動したいけど
どうしたらよいかわからない

身寄りがなくて、
住宅の入居や仕事探しの
とき困ってしまう

外国籍で、日本語の理解が難
しく情報が十分入らず
生活の不安がある

隣近所や地域住民と
交流がなかったり、
関係が良くなかったりする

歳をとってきて、
仕事が見つからない
今後の生活が心配…

猫が増えてしまい
どうしてよいかわからない…

問題を
解きほぐします

世帯を
チームで支援

「居場所」に
お誘いする

動物支援に
繋げる

子どもの
学習・生活
支援

家計と
特例貸付

就労の
支援

住居の
支援

福祉・医療(心
も含め)
専門家に繋ぐ

地域・家族と
調整をする

食料の
無料提供



多頭飼育問題の社会的背景-生活困窮と悪循環のおそれー

川上にある問題

ひきこもり 不登校 就労に困難 子どもの貧困 依存 介護疲れ
 地域の人との関係 家族と断絶(疎遠) 身寄りが無い 8050問題
 病気・怪我・障がい 債務・クレジット 失業 高齢化 外国籍
 ひとり親

川上にある問題が、川下において
 様々な問題として発露し、その一つ
 に多頭飼育問題が挙げられる。

川下に来てからの問題



出典:佐藤尚治(社会福祉法人長野県社会福祉協議会)、社会的孤立の要因～社会福祉の立場からみた多頭飼育者の特徴について～を一部改変

多頭飼育の問題に関わるようになったか？ …多頭飼育の事例を通じて感じたこと

相談者にとって…
 動物は暮らしの一部…
 しかし…
 飼い続けることで
 その人の暮らしが
 大変になってしまう現実…

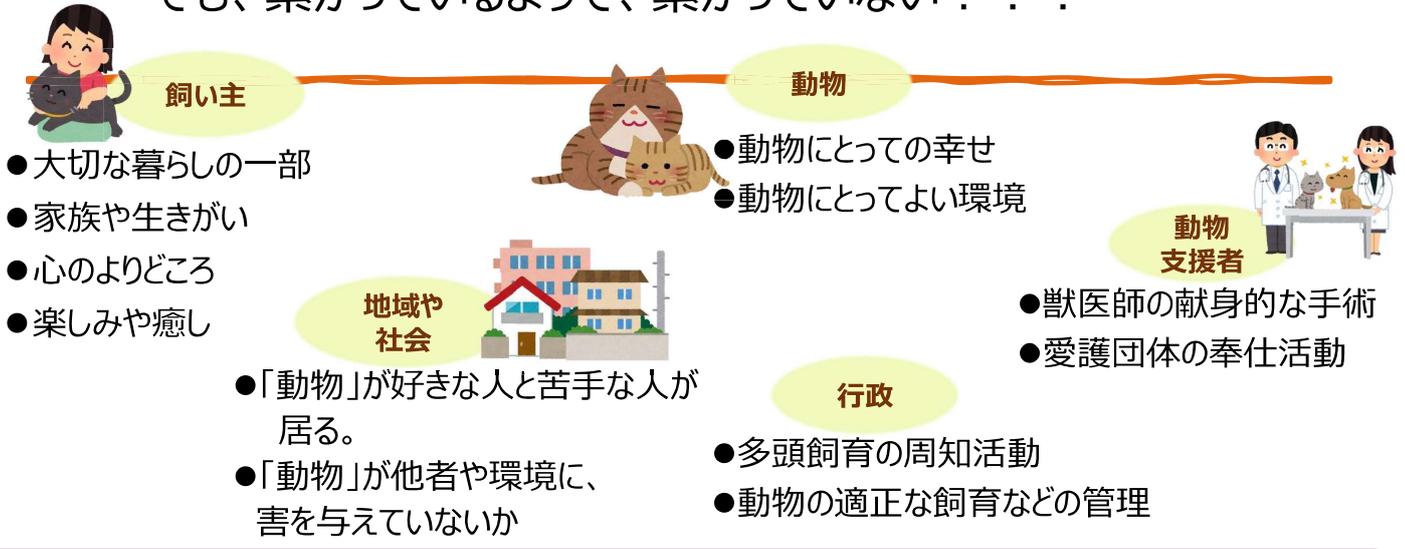
人の暮らしを
 優先すると
 動物は？



愛護団体…
 「多頭飼育の支援で入った家が
 人間が住める状態ではなかった。
 関わってくれる福祉の人が
 見つからず、
 猫の避妊去勢手術だけでなく、
 飼い主の家の片付けや掃除をした」…

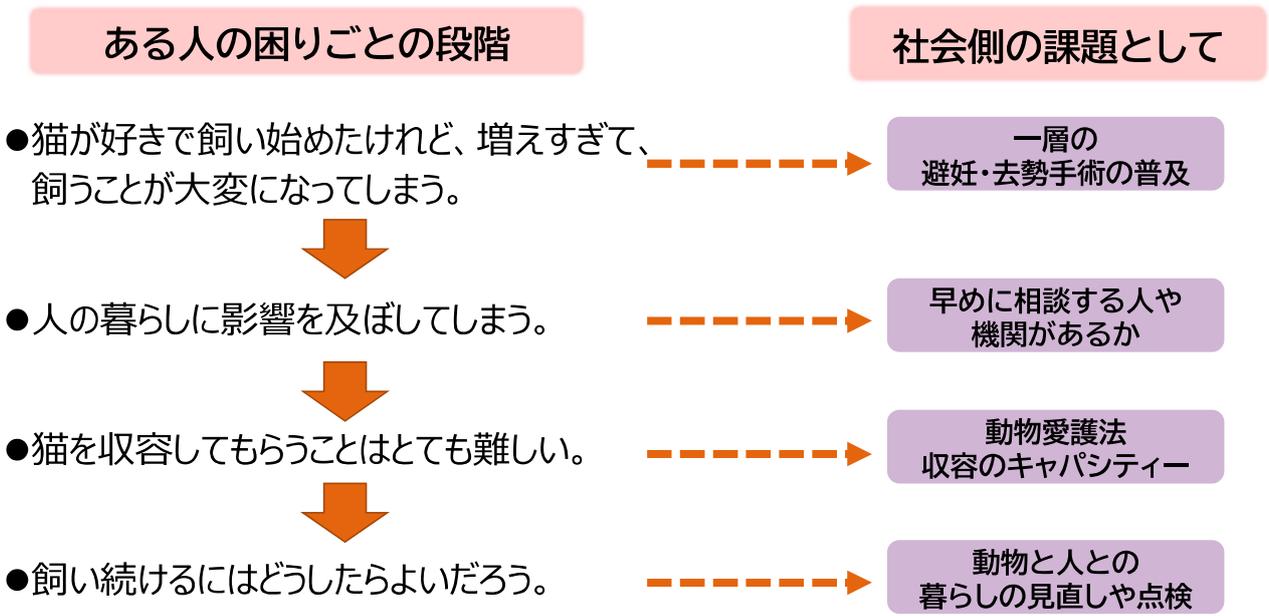
愛護団体の
 孤軍奮闘

飼い主・動物・地域や社会…みんなの暮らしにかかわる問題… でも、繋がっているようで、繋がっていない！??



人の暮らしや地域に寄り添うソーシャルワーカー(相談員)としては
ほおっておくことはできない問題

多頭飼育の相談から…



人と動物の暮らしは切っても切り離せられない…
人と動物の接合点に寄り添う専門職として…

- その人の生活や子どもたちの成長との関係…深い倫理観の問題
- 多頭飼育は、地域の人にとっては、受け入れがたいことも…
- 「猫の専門家」（愛護団体）がいてくれることで、飼い方やケアの仕方が分かる
- 避妊去勢手術は必須、獣医師の協力
- 人の暮らしと猫の問題について、一緒に活動して下さる市民
- 当該行政機関の適切な対応

飼い主と暮らし・人生（一人ひとりの福祉）

地域住民の福祉（社会福祉協議会など）

動物愛護団体

獣医師

地域のボランティア

適正飼育普及・対応

連携の要（つなぎ役）は
メンバー同士と
ソーシャルワーカー

飼い主・ソーシャルワーカー（相談員・福祉の支援者など）
社会福祉協議会や地域住民・

愛護団体・獣医師・ボランティア・行政 そこを繋げてみたら…

人の支援と動物支援とチームで連携することで解決していく！

9

事例 あいさん（仮名）

～多頭飼育・複雑な問題・孤立の事例～



あいさんの父

あいさん 女性：主たる飼い主、一人で子育てと介護

保育園～小学生：3人の子どもたち

❖猫の状況

- ・子猫含め20匹
- ・室内飼い
- ・避妊去勢手術なし
- ・糞尿が部屋中に散乱
- ・病気の猫や障がいがある猫

❖世帯の状況

- ・屋内外は廃棄物で溢れる
- ・近隣住民との関係
- ・経済的困窮
- ・父との暮らしの難しさ
- ・子どもの養育（学校への行き渋りなど）

10

あいさんと世帯の状況 ～社会と孤立した状況～



人間との動物の生活に関する葛藤

- ・猫や犬の糞尿などによる屋内の不衛生な状態
- ・新たに猫が増えていっている状態
- ・高齢の父と子どもへの猫の影響
- ・主たる飼い主あいさんほか、家族にとっての支え
- ・猫をこのまま多数飼うことについての疑問

あいさんとのかかわりから…

小さいころから、集団に入って話すのが苦手だった
なぜ、自分は勉強ができないんだろう…とずっと悩んでいた。

実は、お父さんとの暮らしについてうまくいっていない

自分は猫が好きだが、子のひとは猫が嫌いな様子。
猫は増えすぎて困っている。



あいさんは様々な「過去の出来事」と
「今の困りごと」を一つひとつ語る

相談員(ソーシャルワーカー)

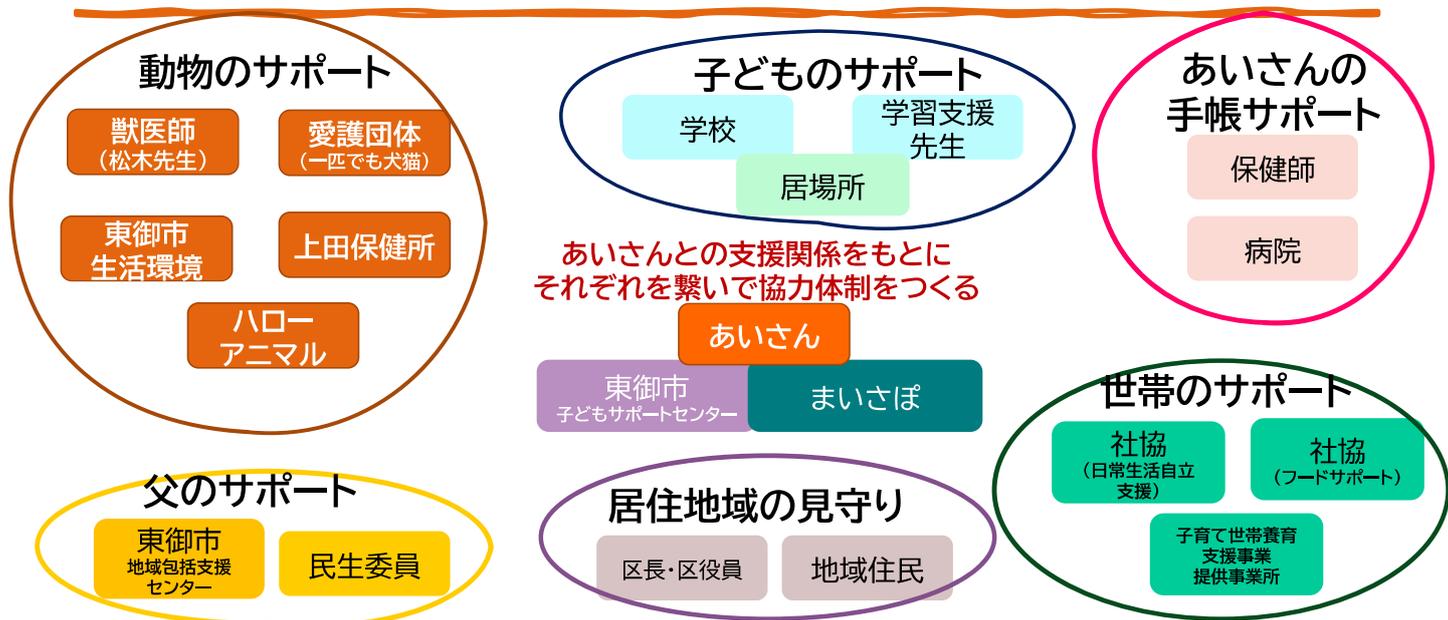


あいさんの語ったことを「受け止め」
「再度、違った意味付け」・「ケアと労い」

あいさんと取り組んだこと（まいさぼ・社協 & 関係機関）



あいさん世帯に関わる関係者・関係機関



多頭飼育に関して 連携して取り組んだこと

① 支援関係者会議を開催

(東御市・上田保健所・NPO一匹でも犬猫・子相談員・まいさぼ相談員)

② まいさぼ主任から、あいさんに多頭飼育の手術について提案

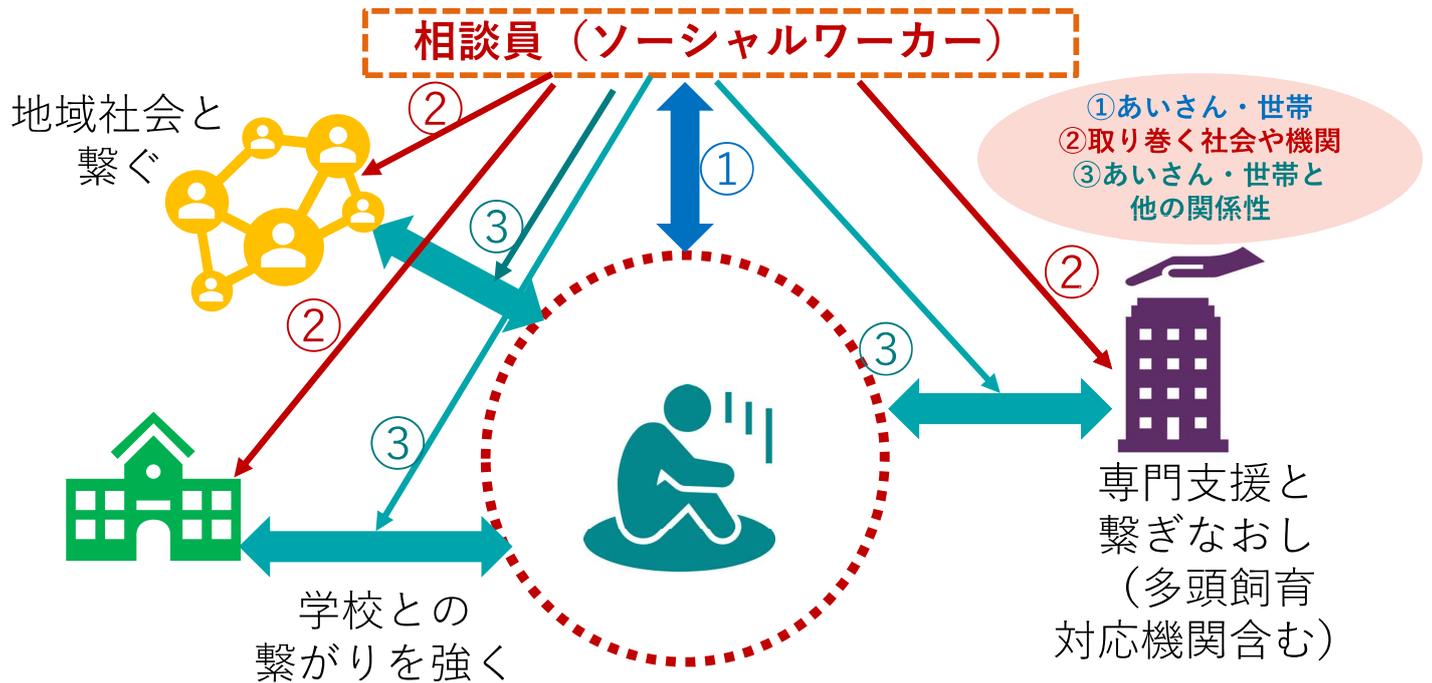
③ 手術日の調整 (東御市・NPO一匹でも犬猫・しんけん動物病院)

④ 東御市の公共施設の駐車場で手術

⑤ その後、猫との生活が安定する



あいさん「本人・本人世帯」・「機関」・「関係性」にはたらきかけ



家の片付けの支援と猫の手術、その後

- 家の片付け支援は、何度も本人と話し合い、実現する
- 地域の方や関わる支援関係者で協力して実現
 - * 県社協あんしん創造ねっと・地域住民との協働活動支援事業)
- 家の片付けの目途がたったところで、避妊去勢手術をする
- 里親募集
- 経済的目途が立つまで、フード支援を受ける
- 適正飼育へのアドバイスや見守り

生活環境の改善

猫との共生



あいさんと猫と支援者



- ① 猫たちのファミリーヒストリーを聴いて
- ② 猫の他界
- ③ 猫の飼い方セミにやあ

❖「動物の存在の意味」を理解する重要性

→ 本人の生き方や価値観などの深い理解につながる場合がある

❖「大切なものを理解しようとする」とは、支援関係の構築へ

❖「葛藤」と折り合いをつけ、着地点を見出す

19

多頭飼育の連携から考える

❖連携することで、お互いの専門性を理解する

❖連携先の「理念」や「価値観」に触れ、共感する

❖餅屋は餅屋…、専門性に頼る 自分が頼られたら、お返りする

❖「葛藤」はつきもの…。だからこそ、**チームで最善を考える！**

❖動物の命、本人の命・生活・人生・本人にとっての動物の存在との
折り合いをつけていく。

多頭飼育は連携なくして、解決なし！



20

『それぞれの現状を共有してみよう！』

◆【連携と役割分担について必要なものとは】 『パネルディスカッション・掘り下げて想像するビフォーアフター』

<登壇者>

長野県佐久保健所 藤井 美和 氏

長野県動物愛護センター 小平 満 氏

東御市役所 笠井 昌鷹 氏

○ 二人の「飼い主インタビュー」～飼い主は何を感じたか～

<コーディネーター> 松木 信賢 氏(再掲)

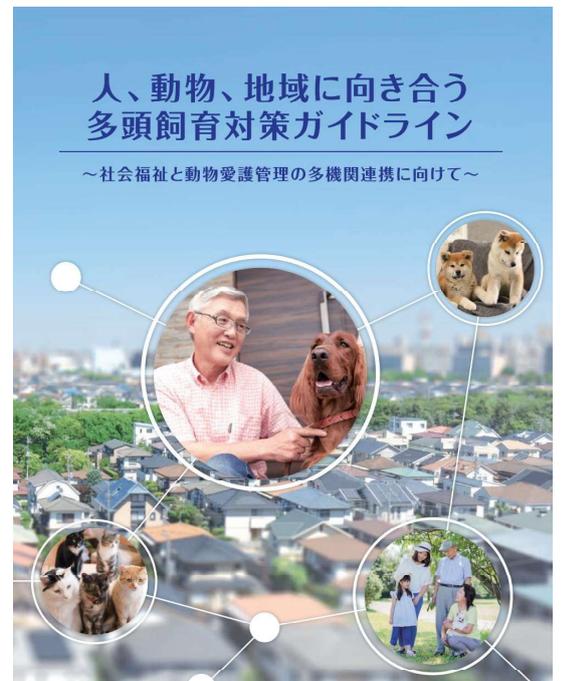
「多機関連携での多頭飼育飼い主へのアプローチについて」みんなで支えたい



佐久保健所
藤井 美和

猫における2大社会問題

- 多頭飼育崩壊・飼育放棄
- 地域の猫問題



環境省
Ministry of the Environment

猫の問題発生状況（令和3年度 佐久保健所へ相談：全58件内訳）

地域（大規模7・小規模18）

大規模 **本人SOS：2件**
高年齢者：1件

小規模 **本人SOS：30件**
高年齢者12件

地域で猫を増やさない
取り組み

多頭飼育(9件)

本人SOS: 4件
高年齢者: 2件
調整困難: 2件

救済・予防
(福祉との連携)

福祉(7件)

**SOS: ケアマネ、マイサポ、
社協、保健所、病院**

高年齢者: 4件
多頭: 3件



令和4年度 大規模相談対応状況



多頭飼育(9件)

	SOS	猫
1	本人	8
2	高・本人	10
3	家族	26
4	聞取から	11
5	高・近所	(12)
6	近所	(12)
7	本人	20
8	中学生	33
9	本人	12

福祉関係(7件)

SOS: 病院ケアマネ、マイサポ、社協、保健所

	SOS	特記事項	猫
1	隣の家	重層支援	13
2	ケアマネ	高・認知症	8
3	マイサポ		3
4	後見人	ネットワーク会議	8
5	社協	高重層支援	12
6	病院ケアマネ	高	12
7	保健所	高	4

地域で猫が多い(7件)

	SOS	合計数
1	住民苦情	62
2	住民	8
3	市議依頼	31
4	区長依頼	16
5	住民苦情	9
6	住民相談	10
7	住民相談	20

対応猫数 360

地域働きかけ案件

10/21・1/26
探知
1/29現地
2/9区長説明
2/25回覧
3/26手術



回覧

令和4年2月

区内にお住いの皆さんへ

飼い主のいない猫（ノラ猫）対策について

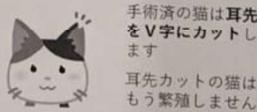
以前より、飼い主のいない猫（ノラ猫）に対する苦情が度々あり、抜本的な対策がなく苦慮してきたところですが、先ず、今後これ以上の繁殖をストップするため、地域全体での不妊去勢手術が必要と考えます。
この度、佐久保健所指導のもと、区内にお住まいの方及びボランティアの皆様方の協力によりTNR（捕獲⇒不妊去勢手術⇒元の場所に戻す）を実施することとなりました。区内にお住いの皆様方のご協力と、ご理解をよろしくお願いいたします。

※手術の効果・・・外猫の寿命は4～5年、手術により徐々に数が減ります。発情期の鳴き声やケンカ、尿の臭気も減り、おとなしくなります。又、他地区からのノラ猫の流入防止ともなります。

●実施日 令和4年3月25日（金）捕獲器設置等～26日（土）不妊去勢手術耳カット等・・・活動基地（公民館）

●実施に当って猫を飼っている皆さんへ

首輪や耳カットのない外猫は、未手術のノラ猫と判断され、手術の対象となります。飼い猫は室内飼養に努めてください。やむを得ず外で飼う場合でも、不妊去勢手術をし、飼い主がわかるよう首輪・名札を付けてください。



※ 広報 2月号10ページ「猫の飼い方見直しませんか」を参照してください。

裏面へ

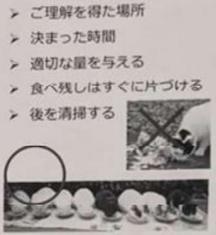
飼い猫には首輪（名札付き）の装着を

猫の所有者は屋内飼育に努めましょう。やむを得ず外に出す場合でも、去勢手術、不妊手術をし、所有者がわかるようにしましょう。
※外に出ている猫は、室内飼育の猫と比べ、圧倒的に短命です。猫は室内飼育をお勧めします。

餌やりマナーの向上

これ以上猫を集めないエサやりの方法

- ① 迷惑にならない場所で、
 - ② 毎日同じ時間に、
 - ③ 多すぎない量のエサを、
 - ④ 小皿で、頭数分に小分けして与え、
 - ⑤ 猫の食後はすぐに片付けて清掃。
- ※エサを置いたまま放置すると、臭いにつられて周辺地域から未手術猫が集まってしまう、対策が無駄になりますので、止めましょう。



猫が置に入らない方法

1 食用酢	2 木酢液	3 漂白剤	4 におい系のミックス
5 ハッカ油	6 コーヒー粉	7 どくだみ茶等の茶殻	8 ニンニク
9 トウガラシ	10 お米のとぎ汁	11 ミカン等柑橘類の皮	12 カレー粉等香辛料
13 正露丸	14 フェロモンの忌避剤	15 ゼラニウム	16 ハーブ類を植える
17 市販の忌避剤	18 ペーパー（黒色装飾用木片）	19 防犯砂利	20 水をまく
21 水鉄砲など（空を見せないで）	22 枯れ枝	23 ガムテープ	24 割りばし
25EM菌（微生物分解促進剤）	26 卵の殻	27 投げ枕シート	28 園芸用の灰
29 網戸用フェンス用の網	30 センサー感知ブザー	31 センサー感知超音波	32 猫のトイレをつくる

※色々な方法で日替わりなど何度も繰り返す。猫との根絶へ、
(引用:公益財団法人 神奈川県動物愛護協会 黒澤 孝 先生)

今後、区として、今事案に対する管理体制を検討し、継続的に取り組んでいかなければならないと考えますのでご協力をお願いします。（不妊去勢手術費、情報の収集、協力体制等）

以上

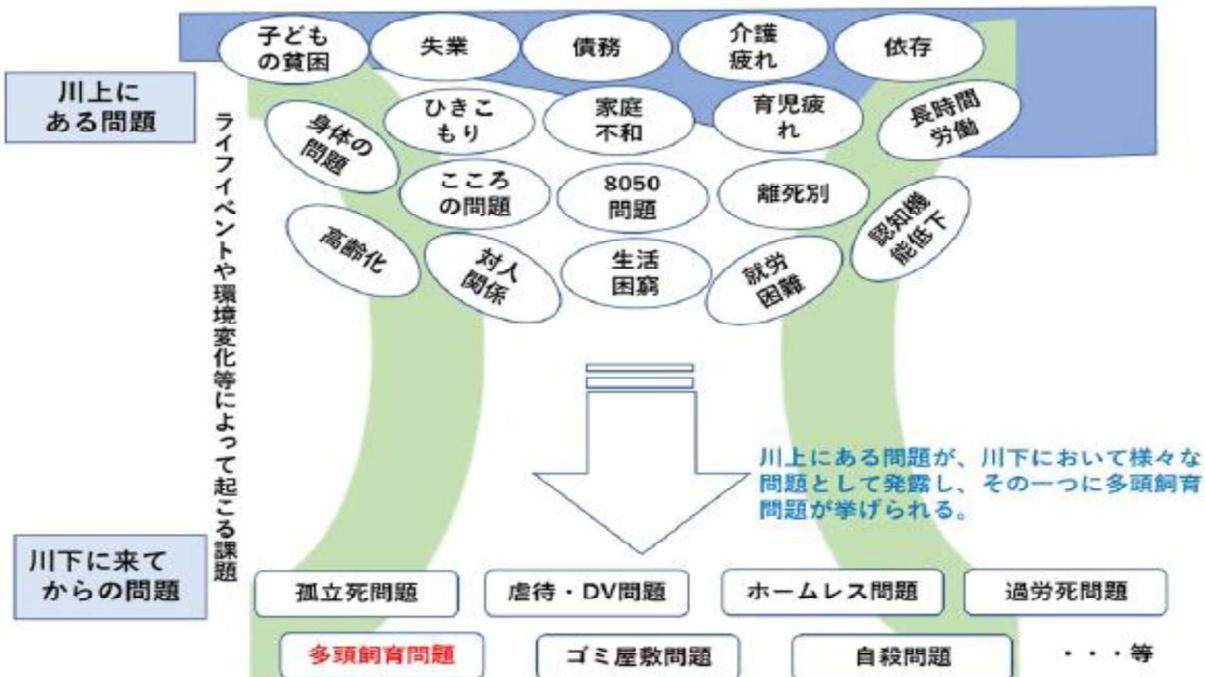


図 6 多頭飼育問題が生じる社会的背景

(出典:佐藤尚治(社会福祉法人 長野県社会福祉協議会), 社会的孤立の背景と要因～社会福祉の立場からみた多頭飼養者の特徴について～ を一部改変)

環境省「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン」より

事例 1

猫34匹
(内5匹引取)
50代男性

大量のゴミ
不衛生を極める

完全室内飼い

苦情により発覚

探知 R4.3.1、R4.5.9
現地 R4.5.11
手術・清掃 R4.5.30 -31

経過

- ・ 4年前の2匹から始まった
 - ・ 2年前にボランティアからの連絡を待っていたが来なかった
- 早い段階での予防の重要性
早い段階で相談できる体制づくり
→周知
相談・解決へ導く体制づくり



実行

- ・ 全頭不妊去勢手術※
- ・ 引取・譲渡
- ・ 生活環境改善 ◎ボランティア・有志による
清掃
- ・ トイレ設置
- ・ 手術後見守り

※飼い主は金銭的負担困難

(協力機関：保健所、市町村・ボランティア団体)

事例 2

猫23匹
(11匹引取)
80代女性
(認知機能の低下)

ゴミは多くないが
猫の糞尿がヘドロ状態や乾
燥した状態であり不衛生

離れて住む息子からのSOS

過去 H27.5.29
探知 R4.5.29
現地 R4.7.4
手術・清掃① R4.7.30 -31
清掃② R4.11.10

経過

- ・ 平成27年(7年前)に近所から苦情があり、地区で話し合いの2匹から始まった
- 早い段階での予防の重要性
早い段階で相談できる体制づくり
→周知
相談・解決へ導く体制づくり



実行

- ・ 全頭不妊去勢手術
- ・ 引取・譲渡
- ・ トイレ設置
- ・ 手術後見守り
- ・ 生活環境改善 清掃・ゴミ搬出

◎ボランティア・有志・社会福祉協議会・地域包括支援センター・家族

(協力機関：保健所・市町村・地域包括支援センター・社会福祉協議会・地域住民・ボランティア団体)

事例3

猫13匹
(3匹引取)
家族5人
(子ども:3人)

大量のゴミ・不衛生

内外飼い

ボランティア・福祉より

探知 R4.11.12
聞取 R4.11.28
手術 }
清掃① R4.12.18-19
清掃② R4.12.25

経過

・ボランティアや福祉関係者からの相談

実行

- ・全頭不妊去勢手術※
- ・引取・譲渡
- ・トイレ設置
- ・手術後見守り
- ・生活環境改善 清掃・ゴミ搬出※



◎ボランティア・有志・社会福祉協議会・まいさぼ・家族

※飼い主は金銭的負担困難

(協力機関:保健所・市町村・長野県生活就労支援センター
まいさぼ・社会福祉協議会・ボランティア団体)

3例に共通する内容

- ・経済的困窮により、最低限の生活(衣食住等)に支障をきたしている
- ・不妊去勢手術を行っていない動物がいる
- ・半年~1年の間に、動物の数が増えている
- ・けがをした動物、病気と思われる動物がいる
- ・動物の臭いを感じる
- ・動物の排泄物が目につく
- ・害虫が多数発生している、もしくはねずみが発生している

現場の状況

- ・圧倒的なゴミ屋敷
- ・本人の生活支援が必要
- ・猫の問題は問題の表層部分のみ
→支援が多方面に必要
→動物担当者より人の支援の流れを起こす形

人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン表

15 探知チェックシートの例 (1) 飼い主等の生活状況

(1) 飼い主等の生活状況			
チェック項目	重要度	該当性	備考
日常生活は自分でできるが、多少の支援が必要な状態である	高	○	事例2高齢者
自分一人で日常生活を送ることが難しく、誰かの介護が必要な状態である	高	○	事例2高齢者
経済的困窮により、最低限の生活(衣食住等)に支障をきたしている	高	○	事例1~3

(2) 動物の飼育状況			
犬	頭	猫	頭
	13,23,34		
その他の動物(種類:)			

チェック項目	重要度	該当性	備考
不妊去勢手術を行っていない動物がいる	高	○	事例1~3
半年~1年の間に、動物の数が増えている	高	○	事例1~3 立入時仔猫3~11匹
動物は放し飼いにされている(家の内外を自由に出入りしている)	高	○	事例2・3 事例1:完全室内飼い
狭い場所(ケージなど)に閉じ込められている動物がいる		—	
ずっと繋がれたままとされる動物がいる		—	

(3) 衛生環境					
チェック項目	重要度	該当性	備考		
動物の臭いを感じる	高	屋内	屋外	周辺	事例1~3
鳴き声その他動物の飼育に起因する音が頻りに発生している	高	屋内	屋外	周辺	
動物の毛・羽毛が著しく飛散している	高	屋内	屋外	周辺	
動物の排泄物が目につく	高	屋内	屋外	周辺	事例1~3
害虫が多数発生している、もしくはねずみが発生している	高	屋内	屋外	周辺	事例1~3
地域住民等から動物の飼育状況に起因する苦情がある	複数回は高	ない	1回	複数回	事例1・2

表 16 状況把握チェックシートの例

目的：発見後対応の段階で、情報収集・現地調査等の結果を整理し、状況把握、問題点の分析、連携すべき主体の抽出を行う。

主体：社会福祉部局、動物愛護管理部局

2. 飼い主等の生活環境

該当性は「○」か「×」で記載。不明な場合は「-」。

チェック項目	該当性	想定される連携先
(1)日常生活		
1. 日常生活は自分で行えるが、多少の支援が必要な状態である。	2	社会福祉部局(介護保険、高齢福祉・障害福祉・生活福祉)、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、地域活動支援センター等
2. 自分一人で日常生活を送ることが難しく、誰かの介護が必要な状態である。	2	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉)、保健所、医療機関
3. コミュニケーションを円滑にすることが、困難である。	無	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉)、保健所、医療機関
4. 経済的困窮により、最低限の生活(衣食住等)に支援を求めている。	全	社会福祉部局(生活福祉)
(2)住環境		
5. 家屋の破損等により、人が住める状態ではない。	無	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉)、住宅部局・生活環境部局、住宅等管理者、家主等
6. ライフライン(電気、ガス、水道)が途絶えており、代替手段がなく、生命維持に必要な最低限の生活に支援を求めている。	一部	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉、生活福祉)
7. 当該建築物等に害虫が多数発生しており、容易に確認できる。当該建築物等で、多数のねずみが発生している。	3	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉、生活福祉)、住宅部局、生活環境部局、防災部局、住宅等管理者、住宅等所有者等
8. 堆積物に多数の生ごみ、汚物及びそれが付着している物品等がある。	全	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉、生活福祉)、福祉事務所、児童相談所、地域包括支援センター、地域活動支援センター、配偶者暴力相談支援センター、医療機関、学校、警察等
9. 臭気の判定を行った全員が、生活に耐えられない臭気があると判定した。	全	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉、生活福祉)、福祉事務所、児童相談所、地域包括支援センター、配偶者暴力相談支援センター、医療機関、学校、警察等
(3)家族の状況		
10. 虐待等(身体的・性的・心理的・ネグレクト・経済的等)の疑いがある。	無	社会福祉部局(高齢福祉・障害福祉、生活福祉)、福祉事務所、児童相談所、地域包括支援センター、地域活動支援センター、配偶者暴力相談支援センター、医療機関、学校、警察等

人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン表

16 状況把握チェックシートの例

- 1. 飼い主等の生活状況
- 2. 不適正な動物の飼育状況
- 3. 周辺的生活環境

3. 不適正な動物の飼育状況

チェック項目	該当性	想定される連携先
1. 極端に痩せた動物や、ふらつきのある動物がいる。	無	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
2. 動物に、目やに、鼻水、耳の汚れ等がみられる。	全	動物病院、獣医師会、動物愛護ボランティア、動物愛護推進員、警察等
3. 動物に脱毛、皮膚の赤み、皮膚病等の症状がみられる。	無	動物病院、獣医師会、動物愛護ボランティア、動物愛護推進員、警察等
4. 痒そうにしていたり、頻繁に体を掻いたりしている。	無	動物病院、獣医師会、動物愛護ボランティア、動物愛護推進員、警察等
5. 著しく毛玉がでたり、爪が伸び過ぎたりしている動物がいる。	無	動物病院、獣医師会、動物愛護ボランティア、動物愛護推進員、警察等
6. 以前に比べて動物の数が増えている(ように見える)。	全	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
7. 動物の餌が固まったり腐ったりしたまま放置されている。	無	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
8. 屋内または屋外に排泄物が堆積している。	全	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
9. 屋内または屋外に動物の死体や骨がある。	3	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
10. 狂振した動物、新たに生まれた動物がいる。	全	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
その他(※任意、飼い主からの聞き取り等をもとに記載)		
11. 飼い主は、自身が何匹動物を飼っているか把握できていない。	2	動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、
12. 動物に対して不妊去勢手術が行われていない。	全	獣医師会、動物愛護ボランティア等
13. かがりつけの獣医師がない。	全	獣医師会、動物愛護ボランティア等

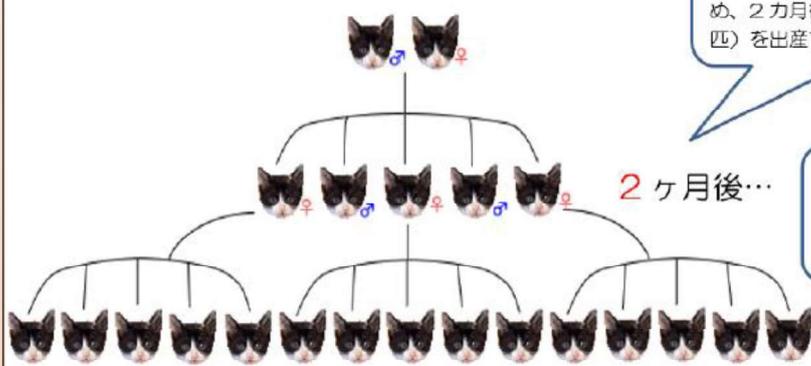
4. 周辺的生活環境

チェック項目	該当性	備考	想定される連携先
1. 鳴き声その他の音が頻繁に発生し、受忍限度を超えている。	無		動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、生活環境部局、住宅等管理者、住宅所有者、警察等
2. 動物の毛・羽毛が周辺に著しく飛散している。	無		動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、住宅等管理者、住宅所有者等
3. 当該建築物等の周囲に害虫が多数発生しており、容易に確認できる。当該建築物等の周囲で、多数のねずみが発生している。	無		動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、生活環境部局、住宅等管理者、住宅所有者等
4. 臭気の判定を行った者のうち、生活に耐えられない臭気があると判定した者が過半数以上である。	有		動物愛護管理部局(動物愛護管理センター)・保健所、生活環境部局、住宅等管理者、住宅所有者等

驚異の繁殖力 1匹のメス猫が来たその日に戻りたい...

1組のオス猫とメス猫がいるとします。

この2匹がどのように増えるのか、見てみましょう。



猫の妊娠期間はおよそ2ヶ月です。猫は交尾をすれば高率で妊娠するため、2カ月後には子猫(平均4~8匹)を出産するでしょう。

猫は、生後半年程度で発情します。つまり、二代目の子猫たちは生後8カ月頃には子猫を出産するでしょう。

さらに、8ヶ月後...

実際は、1代目の猫も、出産後に子猫が離乳すると次の発情がすぐによってくるので、計算上はこれ以上の数になると考えられます。猫の繁殖力はまさに「ネズミ算」です。増えちゃう前に繁殖制限手術を施しましょう。

こんなことになるとは思わなかったと肩を落とす高齢者...

予防の必要性をみんなに知ってほしい...

- 1代目 ① (♀1)
- 2代目 ⑤ (♀3♂2)
- 3代目 ②④ (♀4×6=24)
- 2年ほどで合計は

③⑥

連携部局

- 市町村（生活・福祉）
- 地域包括支援センター
- 社会福祉協議会
- 長野県佐久生活就労支援センターまいさぼ

予防・支援

- 医療機関
- 児童相談所
- 住宅供給公社・建築課

予防

- 動物愛護団体
- 動物愛護推進員

実働

- 区長・地域住民

環境省

「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン
～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて」

表16より想定される連携先

予防・支援へ向けて

- 生活環境部局
- 社会福祉部局
介護保険、高齢福祉・障害福祉・生活福祉
- 住宅部局
住宅等管理業者、住宅等所有者等
- 福祉事務所
- 児童相談所
- 医療機関
- 地域包括支援センター地域活動支援センター
- 居宅介護支援事業所
- 防災部局



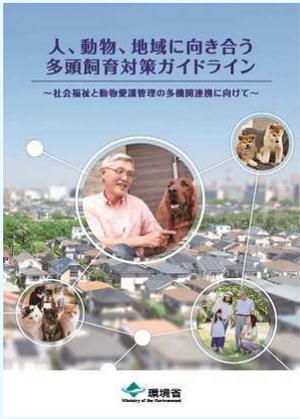
◎多頭飼育崩壊に陥らない世の中・予防につながる多機関連携へ向けて



多頭飼育問題における動物愛護センターの関わり

動物愛護センター（ハローアニマル）
 そうだん課長 小平 満

1



人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン

～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～
 令和3年3月 環境省 発行

1. 予防

飼い主を含む全ての住民を対象に、動物の飼育に必要な知識、不適切な多頭飼育に係るリスクと防止策、多頭飼育問題に気づいた場合の連絡窓口等を効果的に普及啓発する。教育の場を設ける。

2. 発見

①多頭飼育問題に陥るリスクの高い状態
 ②多頭飼育問題の初期段階
 ③多頭飼育問題
 ①～③を採知・発見し、動物愛護管理部署及び社会福祉部署で情報共有し、採知チェックシートを用いて対応の必要性について検討する。
 【ツール】採知チェックシート（表15）

3. 発見後対応

動物愛護管理、社会福祉その他の制度に基づいた対応を行う飼い主の努力・取組だけでは問題解決が困難で、地方自治体・関係機関等が解決に乗り出さなくてはならない段階。
 ①状況把握及び連携すべき関係主体の抽出
 事案に則して状況把握チェックシートを用い、問題点の分析、連携すべき関係主体を抽出する。
 【ツール】状況把握チェックシート（表16）
 ②対応
 3つの観点（a.飼い主の生活支援、b.動物の飼育状況の改善、c.周辺の生活環境の改善）に基づき、関係主体と連携して対応する。対応状況を案件記録表に記録する。動物の状態は動物リスト、動物カルテに整理する。
 【ツール】案件記録表（表17）、動物リスト（表18）、動物カルテ（表19）

4. 再発防止

多頭飼育問題の解決後、多頭飼育問題が再発しないように、地域住民・地方自治体・関係機関等による飼い主の見守り等、多層的なアフターフォローを行う。
 再発の兆しがあれば、早期発見、早期対応につなげる。
 主なツール活用主体：社会福祉部署、動物愛護管理部署、その他関係主体

図 9 多頭飼育問題への対応フロー（概要）

2

予防（ポピュレーションアプローチ）

- 動物を適正に飼育してもらうための普及啓発
- 動物の正しい飼い方教室
- 動物のふれあい（ふれあい教室、ふれあい訪問）
- 学校飼養動物支援
- 飼育に関する相談窓口
- 動物の譲渡
- 地域猫支援
- 不登校児童生徒の受け入れ など

人と動物の共生する潤い豊かな社会づくり

多頭飼育問題発生予防



3

多頭飼育問題を抱えた飼い主 に対する飼い方教室の開催

社会福祉協議会からの依頼

事前打ち合わせ

参加者 社会福祉協議会、市役所、保健所、動物愛護センター

打ち合わせ内容（どのような教室とするか）

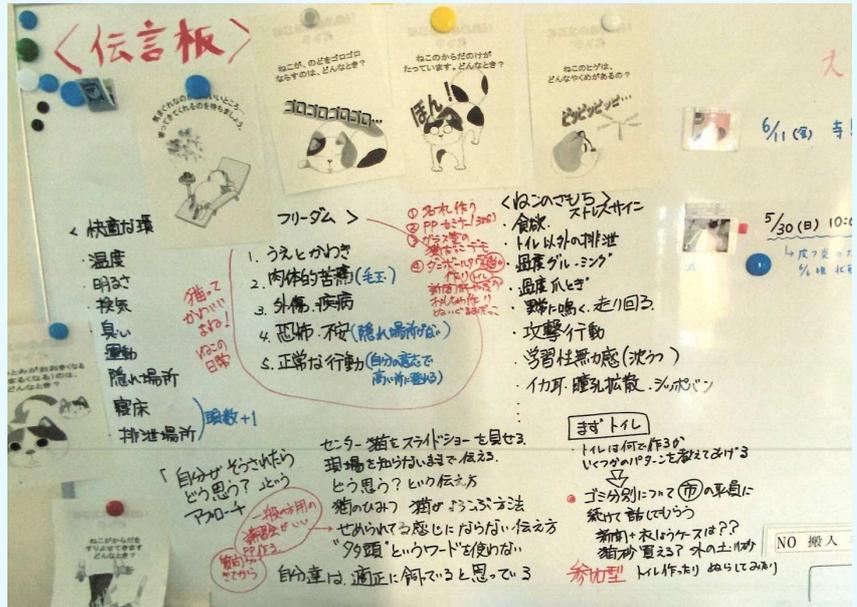
- ・猫の触り方や、トイレ、餌などの基本的な飼育方法
- ・来て楽しい教室
- ・飼い主との壁を作らない関係、環境づくり



4

所内会議

わかりやすい教室
にするにはどうし
たらいいか



5

対応事例 1

ネコのきもちセミナー



日時 令和3年6月20日(日) 10時~12時

場所 動物愛護センター 探0館

参加者 2組4名 スタッフ15名(社協、市役所、保健所、動物ボランティア、センター)

内容 ネコについて学ぼう

ネコのモデルルーム拝見

工作の時間

ごみの分別について学ぼう

6

ネコのきもち セミナー

猫の飼い方を楽しく学びましょう



トイレはどうすればいいのかな



猫の好きなものってなに



どんな病気があるのかな



どんな場所が安心するの？

6.20 2021
Sun
10:00---12:00

長野県動物愛護センター
小諸市大字菱平字前田2725



ネコのきもち セミナー

6月21日 10:00~12:00

1. オープニング
2. ネコについて学ぼう
3. ネコのモデルルーム拝見
4. 工作の時間
キャットタワー、ネコのおもちゃ、
ネコトイレを作ってみよう
5. ゴミの分別について学ぼう
6. アンケート
7. エンディング





7



対応事例2

第2回ネコのきもちセミナー

日時 令和4年4月17日（日）10時～12時

場所 動物愛護センター 探0館

参加者 2組4名 スタッフ9名（社協、市役所、保健所、動物ボランティア、センター）

内容 ネコのかいかた
ネコのきもちクイズ
ごみの分別について学ぼう

9

第2回
ネコのきもち
セミにやー

みんな
きてね!

開催日 令和4年4月17日 10:00より
開催場所 ハローアニマル(探鳥館)

おうちは? ごはんは? トイレは?

動物愛護センター(ハローアニマル)
小諸市大字菱平字前新田2,725 電話0267 24 5871

ネコのきもち
セミにやー

はじまり
ネコのかいかた
ネコのきもちクイズ
ゴミの分別について
学ぼう
アンケート
おわり

10

Thank
You

12

東御市の事例

動物・福祉部門の多機関連携（チームTAG）



東御市 生活環境課 生活安全係 主査 笠井昌鷹

地域猫活動

2021年より 飼い主のいない猫、不妊・去勢手術の補助金を交付

概要

自治体情報

進捗情報

東御市



現在東御市では、飼い主のいない猫（以下「野良猫」と言います。）による生活環境被害やお腹を空かせた猫が可哀そうなどの相談が多いため、地域猫活動を進めています。令和3年（2021年）1月から、「飼い主のいない猫の不妊去勢手術費」に補助を開始したところ、野良猫が増えて困っていた、不妊去勢手術をしたいなどの相談、また、補助金の申請が多くありました。人も猫も幸せなまちとなるように、さらにこの活動を進めていきたいと考えています。この事業に賛同いただける皆様のご支援をお願いします。

ふるさと納税を利用し資金集め

ふるさとチョイス
プロジェクトをさがす 目標金額 12,093,562,187円 ふるさと納税ガイド 気になる 寄付する

プロジェクトをさがす 応援メッセージ GCFとは ふるさとチョイス 応援を促す

TOP > 過去実績 > 人も猫も幸せなまちとなるように、地域猫活動を支援したい

人も猫も幸せなまちとなるように。地域猫活動を支援したい

カテゴリ：動物

達成!

寄付金額 1,300,000円
130%

目標金額: 1,000,000円

達成率 130%	支援人数 87人	終了まで 受付終了
----------	----------	-----------

〒長野県東御市(ながのけん とうみし)

このプロジェクトは終了しました

> 対応している決済方法

寄付募集期間: 2021年4月26日～2021年7月24日(90日間)

タグ: まちづくり・コミュニティ 平和 自然・環境 動物

SDGs: 11.住み続けられるまちづくりを

地域猫手術実績と どうぶつ基金の利用

2021年より、活動スタート
現在、302匹の地域猫が
管理されている

補助金(上限)
メス 8,000円
オス 5,000円



発見・現地確認

2021年5月初旬 発見

●相談内容：飼い猫がたくさんいるから引き取ってほしい。

5月下旬 現地確認

(まいさぼ東御、一匹でも犬・ねこを救う会
上田保健所、東御市生活環境課)

- ゴミ出しをしておらず、部屋にゴミが散乱し汚れている。
- 手術していない飼い猫が多数いる。(中外飼育)
- 飼い主は人との付き合いがあまりない状況。

支援してほしいことの聴き取り

5月下旬 対策会議（東御市福祉課が参加）

●支援してほしいことの聴き取り

- ・ゴミの出し方、部屋の片付け（猫の居住場所）
- ・猫の手術
- ・猫の飼い方を学びたい
- ・福祉的サポート（日常生活）



初めてお宅を訪問したとき
こちらの様子をうかがう猫



部屋をきれいにして
ゲージを設置

具体的な支援へ

6月上旬 猫の飼い方教室の検討会議
(県社会福祉協議会、県動物愛護センターが参加)

6月中旬 猫の不妊去勢手術実施
●しんけん動物病院 (動物移動手術車)

6月下旬 ネコのきもちセミナー開催
●県動物愛護センター (小諸市)

9月頃から
市民ボランティアの協力で、料理・清掃の助言などのサポート
●まいさぽ東御



猫の手術実施



動物・福祉関係者による
支援対策会議

支援により、飼い主と猫は・・・



ゴミ出し、部屋の片付けをした
猫と住める部屋を作った



猫は不妊去勢手術をした



みよりのない人・単身者の会に
副会長として参加。
身寄りのない方々や単身者の方々と
お互い支え合いながら、
ボランティア活動を行っている



当事者（飼い主）が抱える問題

生活困窮

心身の問題

環境的要因

社会からの孤立

様々な要因が重複するケースも

それぞれの機関が垣根をこえ
出来ることを同時にサポート



多機関連携
チームTAGの結成

2022年4月より月1回のペースで ZOOMにて検討会議

福祉の支援担当者（猫の多頭飼育）を連携して対応したことがきっかけ



メンバー構成

福祉部門

長野県社会福祉協議会 総務企画部 企画グループ 主任
東御市社会福祉協議会（まいさぼ東御） 相談支援係長

生活環境部門

東御市 生活環境課 生活安全係

動物部門

NPO法人 一匹でも犬・ねこを救う会
しんけん動物病院（動物移動手術車） 獣医師 松木信賢
長野県動物愛護センター ハローアニマル 相談課長
上田保健所 食品生活衛生課 食品動物衛生係 獣医師

多頭飼育に関する「学び」「協議」「研究・発信」
の場として、これまで対応した事例のその後の情報
共有をしたり、課題の検討をしている。

現在、他市町村の生活環境や動物の担当者、社会
福祉協議会や保健所の担当者にも参加いただき、
多頭飼育問題を考える場となっている。

多機関連携が速やかにできた背景

以前から、地域猫活動などにより連携していた。

「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン」が共通認識として
あった。

各関係者が、できる支援をできる範囲で行った。

今後の課題

多頭飼育については、
解決困難となる前に
当事者と各部門が繋がる
地域の協力も必要



高齢化社会への加速・要支援者の増加



スムーズな連携と対応が求められる

不安要素の チェック

高齢者 要支援者
(独居など・要支援者含む)
飼っているペットがいる場合

現在の生活環境・飼育環境の様子

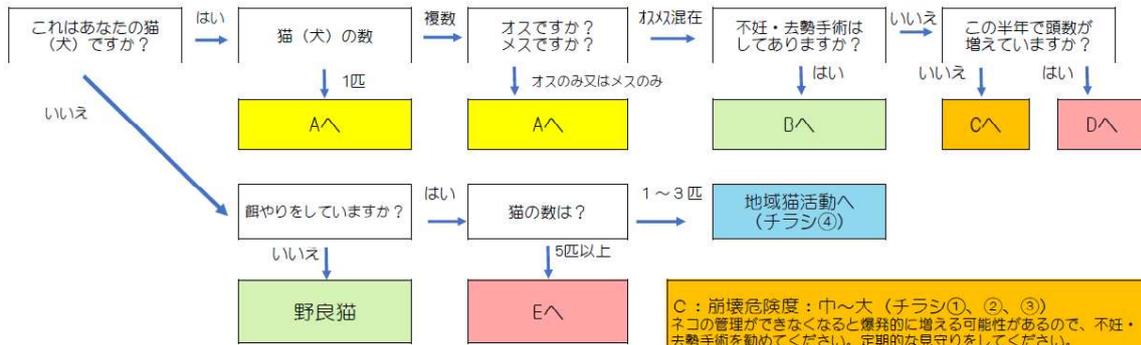
もしもの場合の
ペットの行先を確認

多頭いる場合、
不妊・去勢手術の
有無を確認

- ・チェックシートを活用し、危険度を把握
- ・関係機関で情報共有し、速やかな対応

多頭飼育崩壊 危険度把握フローチャート

- このフローチャートを使うことで、多頭飼育崩壊の危険度が分かります。
- 猫の数が多くなり手に負えなくなる多頭飼育崩壊となる前に、進行を止めるための啓発や関係機関に相談して対策を講じる必要があります。



多頭飼育崩壊とは・・・
無計画に動物を飼育した結果、飼い主の予想を超えて繁殖し、飼育、管理ができなくなる状態になることです。十分な世話ができなくなり、動物も飼い主も不衛生な環境で生活することとなるほか、飼育費用の増大により、経済的に破綻し、状況を解決できない状態となることです。

A：崩壊危険度：低（チラシ①、②）
不妊・去勢手術をしていない場合は外へ出たときに妊娠する（させる）可能性があるため、手術を勧めてください。

B：崩壊危険度：低
見守りを続けてください。

C：崩壊危険度：中～大（チラシ①、②、③）
ネコの管理ができなくなると爆発的に増える可能性があります。不妊・去勢手術を勧めてください。定期的な見守りをしてください。

D：崩壊危険度：大（チラシ①、②、③）
放っておくと多頭飼育崩壊につながります。不妊・去勢手術を勧めるとともに、現状確認、飼い方指導が必要になります。

E：放っておくと猫がさらに増える可能性があります。
地域猫対策が必要なので、市生活環境課へお問い合わせください。

飼い主が飼育継続困難になる可能性も考え、面倒を見てくれる方を探しておくことも大切です。

連絡先：東御市生活環境課 64-5896
上田保健所 25-7152

チラシ①

猫の繁殖力について

- ・生後6ヶ月で生殖能力を獲得します
- ・年に3回発情します
- ・交尾をすると100%妊娠します
- ・1回の出産で4匹～8匹出産します

1匹の妊娠猫が・・・

- 1年後には20頭以上
- 2年後には80頭以上
- 3年後には2,000頭以上になります

たくさん子猫が生まれても、飼い主さんが簡単に見つかるとは限りません

増えすぎてしまった子猫は・・・

- 食べ物に困って痩せてしまう、病気になる...
- 外に出て交通事故にあってしまう、狐などに襲われる...
- ⇒ 悲惨な死、過酷な生活を強いられることとなります

不妊・去勢手術をすることが必要です

チラシ②

猫を飼う どのくらいお金が必要？

1匹あたり

- エサ代 約2,600円/月 ⇒ 約31,000円/年
- 猫用トイレ砂 約2,000円/月 ⇒ 約24,000円/年
- 不妊・去勢手術費 8,000円～20,000円（生涯1回）
- そのほか、定期的なワクチン接種（病気の予防）、ケージ、ブラシ、爪とぎグッズ、おもちゃ、キャリーバッグ 等々.....

1年で約9万円

一生（約15～20年）で約200万円かかると言われています

2匹以上飼う場合は、1匹で飼う場合とは違った配慮が必要になり、手間や費用は多くかかります。

頭数を増やす前に、飼い主さんの生活、住環境、体力、経済力などを考えてください。

不妊・去勢手術のススメ

望まない妊娠を避けるための不妊・去勢手術ですが、発情期の困った行動がなくなるなど猫にとってもよいことがあります。

メス

- ・大きな鳴き声、トイレ以外での排尿、外に出たがる、神経質になるなどがなくなります。
- ・子宮、卵巣の病気等が予防できます。

オス

- ・大きな鳴き声、スプレー行為（尿マーキング）、ケンカ、攻撃的になるなどがなくなります。
- ・精巣、肛門周囲の腫瘍などが予防できます

地域猫活動について

地域猫活動とは、野良猫に不妊・去勢手術を施し、エサとトイレの管理をしていただく活動です。

野良猫の寿命は、5年ほどと短いため、一代限りの生涯を全うさせることで野良猫は徐々に数が減少し、野良猫による生活環境被害（フンや鳴き声など）が改善します。また、交通事故や病死などと隣り合わせの可哀想な野良猫を減らします。

○ エサの管理・・・決められた時間に、決められた場所与え、食べ残しはきちんと片づけます。

⇒ お腹を空かせてごみなどをあさることがなくなります。

○ トイレの管理・・・決められた場所にトイレを設置し、定期的に清掃します。

⇒ 他人の庭や敷地内などへの糞尿被害の改善につながります。

市生活環境課では、野良猫の不妊去勢手術費の補助をしています。

メス：上限8,000円、オス：上限5,000円

※手術の前に、申請が必要です。詳しいことは、市生活環境課へお問い合わせください。地域猫活動へのご協力、よろしくお願ひします。

東御市生活環境課 64-5896

ご清聴 ありがとうございます。

ほどよく、
田舎。
とうみ

『支援事例を検討してみよう！』

<出題者>

坂城町社会福祉協議会 山田 篤紀 氏

多頭飼育問題を考える研究研修会

【午後の部】 連携と役割分担について必要なものとは
《グループワーク》

- ◆事例の読み上げ
- ◆グループワーク
- ◆グループワーク発表
- ◆まとめ

多頭飼育問題を考える研究研修会

- ◆ワークテーマ1
「なぜ連携ができないの？」
- ◆ワークテーマ2
「どうしたら支援の輪が繋がる？何をきっかけにしたらいい？」
- ◆ワークテーマ3
「その他連携に必要な機関、団体、人など挙げてみよう」

『少人数で自由に対話しよう (ワールドカフェ方式)』

※興味のあるテーマのテーブルに入り意見交換をします。

少人数で自由に対話しよう (ワールドカフェ方式)

- ① 飼い方 (飼育放棄、終生飼養等含む) を理解してもらうために必要なことは何だと思えますか
- ② コミュニケーション が取れない理由はどんなことがありますか。
- ③ 連携 がうまくいくとき、うまくいかないときはどんな時ですか。
- ④ 不妊去勢手術 が必要だがお金がない。対処法を考えてみよう。
- ⑤ ゴミ屋敷 等のゴミ処理対応や費用、短期的に移動が必要な動物の 一時預かり の方法について考えてみましょう。
- ⑥ 動物ネグレクト や 猫屋敷 になる背景と対策を話してみましょう。

ふりかえりタイム

振り返りシート



○ 所属

○ お名前

※任意です

○ 今回の勉強会について感想を教えてください。ひとつだけマークしてください。

とてもよい



よい!



ふつう



あんまり



よくない



○ 印象に残った内容やキーワード、全体を通しての学びや気づき、感想をご記入ください。

○ 登壇者等へ質問があればご記入ください。(その場合は氏名を記入してください。)

○ 「あったらいいな」という取り組みや制度等ありましたらご記入ください。

○ 事務局への要望など、ご自由にお書きください。